

《担当者名》常田 美和 tsuneta@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

グローバルな視野に基づき、日本国内外において、看護師として異なる文化的背景をもつ人々と協働でき、文化を考慮した看護の提供ができるようになるための知識・技術・態度について学ぶ。

【学修目標】

様々な文化的背景を持つ人々の健康に関する考え方や生活の背景を理解し、看護ケアに活かすための要素を学ぶ。

- 1 人間の基本的人権を理解し、多文化が共生することの基本原則を理解できる。
- 2 自分の身近にある「異文化」を認識し、考察できる。
- 3 様々な異なる文化的背景について理解した上で、考えられる異文化による人々の生活上の課題を説明できる。
- 4 様々な文化を持つ人々に、看護職としての基本的姿勢・態度および役割を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の進め方、内容、評価方法 多文化共生の基本原則 対象国（インドネシア・ミャンマー）の現状	常田
2	異なる文化的背景の理解	宗教観とケアの違い 格差（経済・健康・教育）とケア	新川加奈子（特別講師） 常田
3	異なる保健医療福祉制度	看護職としての役割の違い	新川加奈子（特別講師） 常田
4	日本で働く外国人との交流	らくら（当別町）においてケア現場を共有する	常田
5	日本で働く外国人との交流	らくら（当別町）においてケア現場を共有する	常田
6	日本で働く外国人との交流	らくら（当別町）においてケア現場を共有する	常田
7	発表と総括	自分で設定した課題について総括する	常田
8	発表と総括	自分で設定した課題について総括する 授業アンケート	常田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション・ディスカッションの参加50%

レポート50%

【教科書】

その都度プリントを配布する

【学修の準備】

日本で働く外国人の国と文化について事前に調べておく（1時間）。

講義および外国人との交流後は、学修内容を整理しておく（1時間）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している